

10議員が町政を^{ただ}質す!!

～6月議会定例会を開催～

聖籠町議会では、6月議会定例会を6月12日から18日までの間開催します。

17日と18日は、議員が町の問題を^{ただ}質す 一般質問が行われます。

この機会にぜひ議会議場（役場3階）へ傍聴においでください。

[一般質問] 場所－役場 3 階 議場
時間－午前 9 時 30 分から

◆ 1日目 6月17日（月）

宮澤（さ）議員・斎藤議員・伊藤議員
長谷川（六）議員・高崎議員

◆ 2日目 6月18日（火）

中村議員・田中議員・手嶋議員
長谷川（進）議員・青木議員

◆お問い合わせ◆ 聖籠町議会事務局 Tel 27-1967



一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁者
1	[7 番] 宮澤 さやか	1 教育全般について	1 本町の教育について問う。 (1) 学校から出される宿題はあって当たり前、と思う方は多いと思う。しかし、近年「自主性が身に付かない」との理由でやめる学校も増えてきているという。「宿題」ではなく自学ノートや復習プリントを用意するという形で取り組む学校もあるようだが、全ての児童・生徒が自身で課題を見つけ、学習できるのかと言われれば疑問が残る。本町各小学校、中学校において宿題の実施はどのようなになっているのか。また教育委員会では宿題の扱いをどう考えているのか。 2 先日、総務文教常任委員会で英語教育について視察を行った。本町でも検討できる取り組みがあったため2点提案する。 (1) 視察先のさいたま市では、2016年から全市立小中学校で「グローバル・スタディ」を実施している。また効果測定の1つとしてGTECを中学校と中等教育学校の2年生が受検しており、2023年度の英語教育実施状況調査の結果である「中学3年で英検3級相当以上」88.4%という驚異的な数字にも結び付いていると感じた。GTECでは4つの技能(「聞く」「話す」「読む」「書く」)を客観的に評価し、テスト結果を基に学習指導の検証や改善に取り組むことができるという。生徒の現状を知り、先生方にフィードバックし、授業改善ができることで英語力も伸びていくのではないかなと思う。本町でもGTEC導入について検討してはどうか。 (2) 小学5・6年生の外国語科では、「聞く」・「話す」に加え「読み」・「書き」の学習も加わってくる。学習する上で学びの楽しさ、授業の面白さを実感することが子どもの学習意欲の向上、成長につながると思う。視察先の東京都羽村市では、中学校教員の小学校への乗り入れ授業を実施していたが、本町でも検討したことはあるか。外国語から英語への円滑な接続に向けた1つの手法であると思うがどうか。	教育長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1	[7 番] 宮澤 さやか	2 公共交通の今と将来像について	1 本町の公共交通について問う。 (1) 令和2年10月から町循環バスの運行形態が変わり、令和5年8月からは新たに回数券の販売が開始され約10ヵ月が経過した。回数券の販売開始後、利用者からはどのような声が届いているか。導入後、利用者数の変化はあったか。また、更なる利便性向上に向け、今後新たな取り組みを実施していく考えはあるか。 (2) 現在、回数券の販売は生活環境課が窓口になっている。今後、購入場所や時間を拡大してはどうか。 (3) 令和5年第2回定例会において土日、祝日のバス運行について質問した。「運転手の確保、経費の面からも難しい状況にある」と答弁いただいたが、人口減少が進む中、運転手不足も相まって公共交通（機関）をどのように維持していくのか、本町でも課題になるのではないかと思う。駅がない本町にとって、循環バスは身近な交通手段であり、必要不可欠な存在だ。本町でも循環バスの存続と土日や祝日の移動手段確保も含めて思案していると思うが、本町における公共交通の将来像をどのように考えているのか。	町長
2	[4 番] 斎藤 豊	1 児童・生徒の学力並びに体力の向上について	令和5年12月に実施された標準学力検査（CRT）において、全国水準を100とした場合、聖籠町の各小学校、中学校においては、全国平均を下回る結果であったことが報告された。児童・生徒の学力向上は、過去から現在まで綿々と続く最重要課題である。そこで何点か問う。 (1) 昨年の第4回定例会において、英語に対する教育目標を達成する一助として英語検定を推進するのであれば、英語検定料を全額補助とし、同一年度内において3回までと提案したが、なぜ予算に反映されず、逆に前年より減額したのか。	町長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
2	[4 番] 斎 藤 豊	1 児童・生徒の学力並びに体力の向上について	(2) 放課後子ども教室での塾講師導入と中学校 1・2 年生を新たに学古堂の対象とはしたが、実施時間や回数を増やすべきと考えるがいかがか。 (3) 令和 6 年度の予算審査特別委員会審査資料で、教育費のスポーツ振興業務委託料の中でアルビレックス新潟との委託分を確認した。このアルビレックス新潟との業務委託は何年から始まり、令和 5 年度までの予算額の総額はどれほどか。また小中学生を対象に事業を実施したが、その成果をどのように評価しているか。	町長 教育長
		2 情報公開について	情報公開については、令和 5 年第 4 回定例会でも質問したが、その後の情報公開の状況について何点か問う。 (1) 町は聖籠町建設工事入札・契約等情報公表実施要綱に基づいて、指名競争入札、制限付一般競争入札の入札結果等は公開しているが、一者随意契約の結果並びに契約理由は公表していない。「行政の見える化」として公表すべきではないか。 (2) 教育長は「今後も町ホームページリニューアルまでの間、引き続き適切な情報提供の場として教育委員会ホームページを更新してまいりたいと考えております。」と答弁したが、以前の議会で答弁した内容を町のホームページに掲載したのか。	町長 教育長
3	[6 番] 伊 藤 千 穂	英語教育向上に向けた取り組みについて	コロナ禍以降インバウンドの影響もあり、県内でも外国人を多く見かけるようになった。またグローバル化が進み、海外との繋がりを持つ人も多くなったように見受けられる。文部科学省によるとグローバル人材に必要なのは、①語学・コミュニケーション能力、②主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感、③異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティの 3 要素とされている。	教育長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
3	[6 番] 伊 藤 千 穂	英語教育向上に向けた取り組みについて	この度5月9日に文部科学省は、全国の公立小中学校及び公立高校を対象にした英語教育実施状況調査の2023年度の結果を発表し、政府は2027年度までに中学校3年生は英語検定3級相当以上の英語力を持つ生徒の割合を6割以上にすることを目標としているが、新潟市を除く県内の割合は49.2%、新潟市は36.2%であった。この結果を踏まえ、町の英語教育について質問する。 (1) 当町の小学生・中学生の英語力はどの程度あるか。 (2) 町は児童・生徒の英語力及び英語学習意欲の向上を図るためとし、実用英語技能検定に対し検定料の半額を補助しているが、その実績はどの程度か。また今後、公益財団法人日本英語検定協会が実施する英検以外のものにも助成する考えはあるか。 (3) 昨年度、英語を通じたふれあいとして、夏休みを利用しイングリッシュキャンプを実施した。この時の内容と実績はどのようなものであったか。また、今年度は同じものを行う予定はなく、それに代わるものを計画するとの事であった。英語に対するふれあいとして、どのようなものを計画しているか。 (4) 英語を早期から学ぶことで、ネイティブに近い英語力を身につけられるとされている。子どもに必要な英語教育として音を聞き分けることが必要とされているが、小学校の低学年から英語に触れる時間を増やす考えはあるか。 (5) 子どもの英語能力を引き延ばすためには、教える側の指導力が大いに関係してくる。そのために町は、教職員に対しどのようなサポートをしているか。	教育長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁者
4	[8 番] 長谷川 六男	1 歩道植栽の維持管理について	令和元年第3回定例会において、歩道植栽の維持管理について質問している。その当時、町長の答弁では「剪定時期や見通しが悪い場所については安全が優先であり、現場確認をした上で早急に対応したいというふうに考えている」と答弁している。しかし、毎年初夏を迎えるこの時期になると草木の成長が早いのか歩道植栽が草木に覆われて景観が損なわれている所や、見通しが悪く危険な場所がある。町長は「財源等の課題もあり、バランスを見ながら検討していく」との答弁であった。私が質問してから、約5年が経つが一向に改善しているように見えない。町は予算の関係上このままの状態でも構わないと思っているのか、それとも景観や危険な場所の改善を重視し検討する考えがあるのか伺う。	町長
		2 新潟東港鉄道の構想について	物流業界における「2024年問題」が話題となり、新潟東港コンテナターミナルへ鉄道を直接乗り入れる構想の復活が取り沙汰されている。県は、「国に対して構想の実現に向けて働きかけている」と報道でもあった。今後、新潟東港の発展のためにも重要で私個人としても是非実現してもらいたい。町としても経済面で大きなチャンスと捉えるが、町長は、町の立場として国、県に働きかけをしているのか。	町長
		3 熱中症予防対策について	昨年は世界的に気温が上昇し、「観測史上最も暑い夏」を記録した。気象庁の発表によると今年も6～8月の平均気温は全国的に高く、特に8月は暑さが厳しくなると予想している。気象条件次第では、観測史上最も暑かった昨年に匹敵する「災害級の暑さ」となる可能性が高いとの予測を出し警戒を呼びかけている。そこで、児童・生徒たちを熱中症から守るために、教育委員会として学校現場に対してどのような指導助言を行っているのか伺う。	教育長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
5	[5 番] 高崎 美由貴	聖籠地場物産館の今後について	平成 6 年に開業した聖籠地場物産館は地元農産物、鮮魚等の販売により地域振興を図ることを目的とし設立された。約 30 年経過した現在は、施設の老朽化に加え、当初の収入源であったテナントがほとんど撤退したことにより、運営主体の聖籠地場物産株式会社の経営状況も悪化し債務超過の状況が続いている。 令和 2 年度においては聖籠町行財政改革有識者会議において検討がなされ、また、令和 3 年度には補助金等見直し方針が出された。その中で、地場物産館に対する農産物販売促進事業補助金についても、削減・廃止を含め、地場物産館の在り方について検討された。それを受け、令和 4 年 3 月からは「聖籠地場物産館のあり方検討委員会」を立ち上げ、5 回の検討委員会を開催し、「聖籠地場物産館の今後の方針に関する意見書」が提出された。そして令和 5 年度にはその意見書で示された方針を受け、その具体化に向けた事業計画を作成するため、コンサルティング業務委託をしている。複数年かけて議論を重ねてきた内容を受け、3 点伺う。 (1) 聖籠地場物産館の今後の在り方について、はっきりとした方向性を決定する時期ではないかと思う。聖籠地場物産館を継続するか、廃止するかどちらか。 (2) 聖籠地場物産株式会社の社長は副町長であり、町長も役員となっている。この役員構成について問題はないか。 (3) 聖籠地場物産株式会社は加工センターの指定管理業務も行っているが、加工センターの稼働率は低く課題も多いと感じる。町民がより利用しやすく改善を図るべきと思うが、どう捉えているか。	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
6	[11 番] 中村 恵美子	1 母子政策について	1 乳幼児紙オムツ購入費補助が、新潟県内でもいくつかの自治体で助成に踏み出している。村上市、弥彦村、阿賀野市、燕市で助成している。聖籠町でも、乳幼児紙オムツ購入費の補助ができないか。 2 妊産婦医療費助成制度が大きく前進している。給付方法も聖籠町は、償還払いである。最近では、現物給付の自治体へと変更している自治体も増えている。新潟市、阿賀野市、新発田市、長岡市、妙高市、柏崎市、上越市、胎内市、燕市、三条市、南魚沼市、五泉市、加茂市、関川村、村上市である。半数の自治体が現物給付である。聖籠町も妊産婦医療費助成制度の給付方法を、現物給付に変更するべきでないか。	町長
		2 学校給食について	2015 年 1 月に環境省は学校給食で生じた食品廃棄物の発生量、処理状況、食品ロス等の削減、食品廃棄物のリサイクルに関する取り組みを把握するため全国の市区町村教育委員会にアンケート調査を実施した。①学校給食の実施状況、②食品廃棄物の発生状況及び処理状況、③リデュース、リサイクル、食育・環境教育に関する取り組み状況は聖籠町はどうであったか。また、教育委員会としては、この結果を踏まえ現在までどう取り組んできたのか。	教育長
		3 使用されていない園舎について	旧蓮野こども園園舎、亀代こども園園舎について伺う。旧蓮野こども園園舎は、当初、シルバー人材センターが使用する話もあったがどうなったのか。何も使用されない建物は、劣化が進んでいく。今後、何も使用予定はないのか。現在の考えはどうか。	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁者
7	[10 番] 田 中 智 之	1 聖山大学の今後と、高齢者向けの生涯学習を、どのように考えるか	聖山大学はコロナ禍のため令和 2 年度から 4 年度まで活動を中止、5 年度は年明けに学生を募集したが、希望者が少なく実施を見送った。 町は平成 24 年策定の「聖籠町生涯学習推進計画」に基づき、こども達の週末体験くらぶ、成人者による実行委員会形式で行う成人式など各世代のニーズに合わせた公民館事業を行っており、聖山大学は高齢者の学習の一つという位置づけた。そういう意味からも学習の機会を町民に提供できていないことは残念だ。 この聖山大学が開講されたのは昭和 48 年 6 月で、当時の日本人の平均寿命は男性が約 70 歳、女性が約 76 歳だったが、現在は男性が約 81 歳、女性約 87 歳である。そして人生 100 年時代と言われるいま、老後の過ごし方が一人一人の人生にとって大きなテーマであり、その中で知的好奇心を持ち続けることは認知機能の維持という意味でも大切だ。昨年度、聖山大学への希望者は少なかったが切望していた高齢者がいたのも事実であり再開できるよう望みたい。以上の点から質問する。 (1) 聖山大学開校当初の目的は町のリーダーを育てるというものであった。経験や知見のある高齢者に町を引っ張ってもらうためにも聖山大学は必要である。それを踏まえ来年度以降の聖山大学の在り方を、どう考えているか。 (2) 人生 100 年時代を迎え、長くなった老後の過ごし方は人それぞれ千差万別だが、誰にとっても生き生きと暮らすためには「健康」と「学習」が重要だ。多様化する町民ニーズに応えうる、生涯学習のカリキュラムを作ってはどうか。	教育長
		2 新潟東港地域の今後の展望をどう考えているか。また町が町民と立地企業を繋ぐことはできないか	今年に入り新潟東港地域の企業で大きな動きが相次いだ。イーレックス株式会社が建設予定のバイオマス発電所の建設場所が変更になった。また、現在暫定利用されている新潟サンライズゴルフコースが今年度で営業を終了することになったようだ。またサトウ食品株式会社は 80 億円を掛けて敷地内に新たな工場を建設するとのことで、これは本町の活性化や発展という意味では大変ありがたい話である。一方、これらについての正確な情報を知らない町民も多く、東港の今後に期待や不安の声も聞かれる機会も多い。そこで質問する。 (1) サンライズゴルフコースの跡地利用はどのように予定、もしくは計画されているか聞いているか。	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
7	[10 番] 田 中 智 之	2 新潟東港地域の今後の展望をどう考えているか。また町が町民と立地企業を繋ぐことはできないか	(2) サトウ食品の設備投資に関し、町民雇用や景観整備等を企業に働きかけられないか。	町長
8	[13 番] 手 嶋 満	聖籠町の人事行政の運営状況について	今年4月の新聞報道によると、総務省の「地方公務員の退職状況等調査」から、定年や懲戒免職、死亡、国・他自治体への出向などを除く「普通退職者」の人数を抽出した。2013年度以降の推移を見ると、コロナ禍で経済が冷え込んだ2020年度を除き、普通退職者の人数がおおむね数百人のペースで増加している。また、2022年度の普通退職者の年齢別は、30歳未満が4,244人で2013年度比2.7倍、30歳以上40歳未満が4,173人で同3.1倍となり若手の増加が鮮明との記事が掲載された。そこで本町における人事行政の運営状況について何点か伺う。 (1) 本庁において、普通退職者の年齢構成、退職事由等の把握、分析は行っているか。また、若い世代ほど転職へのハードルが低いといえるが本庁の傾向はどうか。 (2) 現在の職員の年齢構成をどの様に分析しているか。 (3) 業務を行う上で近隣市町村と比較して、デジタル化が遅れていることはないか。 (4) 年功序列の働き方について、どの様に考えるか。	町長
9	[2 番] 長谷川 進一	中学校の学力及び教科センター方式の是非について	聖籠中学校は平成13年に統合し、同時に今までの教室固定方式から教科センター方式を取り入れて現在に至っている。その期待された教育内容は一部には成果があったものの学力向上という観点から見れば目立った効果は薄い。 令和5年12月発行の「聖中だより」に、全国学力・学習状況調査の結果が報告	町長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
9	[2 番] 長谷川 進一	中学校の学力及び教科センター方式の是非について	されていた。それを見る限りでは、未だに全国平均以下のとのことである。 町は教育委員会と共に教育の基本として推進し、未だにこの方式を採用している。次代を担う子どもたちの成長過程での学校教育問題は、町づくりの根幹を成すものであり保護者や関係者の不安や関心も高く、今までも多くの議員各位が提言・質疑等をしている。ただ、県内で現在でも教科センター方式採用校は聖籠中学校 1 校のみである。 これらを踏まえて、次の点について質問する。 (1) 子どもたちが安心して学び更に健全な心身の発達のため、また保護者たちの不安を解消するためにも、町及び教育委員会は新潟県教育風土・環境に合わないと思う。教科センター方式は廃止し他校並みの教育方式にすべきと考えるがいかがか。 (2) 全国学力・学習状況調査の結果、聖籠中学校の学力が全国平均以下ということが何年も続いている。物事の結果には必ず原因がある。原因は何か問う。	町長 教育長
10	[9 番] 青 木 順	町政全般において	1 町には多くの企業があるが、ネーミングライツとは企業と自治体がパートナーシップを結ぶ事で対価を頂き、施設の運営維持と利用者のサービス向上を図るものだ。また企業にとっても、自社の宣伝効果や、社会貢献評価の向上につながるという事であり、多くのネーミングライツが行われている。以前に質問したが、その後の進捗や今後の考え方を聞く。 2 聖籠町のスポーツ人口、付随した交流人口などは非常に多いと感じている。また、スポーツの力は非常に意義深いものととらえている。スポーツ施設がたくさんある聖籠町をさらに活性化させるためにも、よりよい利用環境が必要とされてくる。高度な練習、良き指導者、良い環境作りこれらは町の仕事だ。多くの子ども達が試合や遠征などで、町を訪れる方も多い中、町の子どもの経験値になったり、訪れる方に町のアピールにもなる。そんな中で多くの交流が	町長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
10	[9 番] 青 木 順	町政全般において	生まれることで全てにプラスになってくる。町の施設などを利用し、合宿や遠征に来る方に対し、宿泊費補助や、遠征費補助などを検討できないか。 3 災害対策について、前回も質問したが、今後の考え方を再度聞いていく。まず重要なのは、ライフラインの確保である。 (1) 新潟日報にも載っていたが、県内の耐震水道管の導入が遅れているという報道だった。石川県内の断水が長期化する中、水道管の耐震化が自治体の課題となっている。町内の水道管もいち早く耐震化が求められていると思う。耐震化には国の補助金や、水道料金の収入が財源と考えるが、人口減少社会において、財源の確保も厳しさを増す中、物価高騰も踏まえ、水道料金は現状のままで行けるのか。 (2) 電気の確保においても、様々な取組みが全国でされているようだが、聖籠町の指定避難所になっている所などの電気の確保は万全か。ソーラーパネルなどで有事の際の電力確保は考えていないか。また、電気料金の高騰も含め、東京都はすでに始めているが、各家庭の電力確保にも補助できないか。以前、住宅用太陽光発電システム設置に助成していたが、時期尚早であったため、なくなった。再度検討できないか。 4 農業支援として、昨年の実態を踏まえ農業用水確保など、この夏の猛暑の備えは検討しているか。	町長 教育長